

期待される効果の一例

★両研修とも、参加者同士の交流やつながりも期待できます。

カリキュラム・デザイン・コース

- 学校教職員 — どのように学校全体で環境教育・ESD 推進すればよいか演習を交えて学ぶことができる。
- 教育委員会 — 教職員向けの環境教育・ESD の実践研修の企画の参考になる。
- 行政関係者 — 環境教育・ESD の現状・課題等を施策等に反映できる。

プログラム・デザイン・コース

- 学校教職員 — 体験活動の実践や企業・団体等と連携する方法等について学ぶことができる。
- 行政関係者 — 体験の機会や体験活動などの環境教育プログラムの実践を理解することにより、施策等に反映できる。
- NPO・企業関係者 — 他社・他団体の環境教育プログラムを知り、自社・団体の取組に生かすことができる。

過去参加者からの声

カリキュラム・デザイン・コース

- 学習指導要領との関連や具体的な様々な切り口のアドバイス、〇〇教育から始まるESD、評価まで確認することができた。
- カリキュラム作成は皆でやってこそ仕上がるものとわかった。自分一人で悩んでいることでもESDカレンダーを作成しながら話することで整理されていくことを実感した。
- 企業や大学や地域の方との連携が、教員の負担軽減や子どもたちの学びの深まりにつながることがわかった。
- 新たに何かを始めるということではなく、これまでの実践をESDの視点に立って各教科との関連を考え、実践するということを学んだ。
- 自身及び同時に参加した同僚にとって、ESDを推進していくための理由や動機が醸成された。

プログラム・デザイン・コース

- 具体的な例とその効果を示して頂いたことで体験の必要性を再認識でき、自分の地域でどのように活用出来るか、誰にどのように働きかければこのような実践が出来るのか等、いろいろ考えずにはいられない研修であり、すぐに動きだしたくなる内容であった。
- 今まで漠然と感じていた足りてないことを、リアルな言語化と体験で学ぶことができ、自身の活動において次の目標が明確になった。

御活用ください ESD 活動支援センター

環境省及び文部科学省により全国センター及び地方8センターが設置されています。学校と地域、企業等をつなげる中間支援組織として、環境教育等に関する相談対応や、各主体同士の学び合いを促す取組等多くの経験と知見を有しています。

<https://esdcenter.jp/> ESD 活動支援センター

学校における ESD 活動支援センターの活用例

- 環境問題をテーマとした探究学習などの授業内容・構成に関する相談や実践支援
- 環境分野に取り組む企業やNPO等の外部講師の紹介
- 児童生徒の成果発表や多様な立場・世代の人との学び合いの機会の提供
- 環境教育・ESDに関する教材・プログラムの紹介
- 教職員等を対象にした環境教育・ESDに関する研修等の紹介等

申込方法

研修公式サイト内、各コースの「お申込フォーム」に必要事項を御記入の上、送信してください。
※講師派遣型研修のみ、研修運営事務局まで直接メールで御相談ください。

研修公式サイト

https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher

研修運営事務局

E-mail : esd-kensyu@jeef.or.jp



申込締切

各研修日の1週間前
※定員に達し次第、締め切ります。

受講料

無料 ※研修会場・集合場所までの旅費や昼食代等は自己負担となります。

お問い合わせ先

研修運営事務局 公益社団法人日本環境教育フォーラム内(担当:金久保、中地)
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5 日能研ビル1階

※テレワークを実施しています。
お問合せはできるだけメールで御連絡ください。

TEL : 03-5834-2897 E-mail : esd-kensyu@jeef.or.jp

主催:環境省 協力:文部科学省

ESD

サステナビリティ

環境教育

アクティブ
ラーニング

パートナーシップ

PBL

ウェルビーイング

エシカル消費

体験の
機会の場

社会に開かれた教育課程

地域共創

令和7年度 教職員等環境教育・学習推進リーダー養成研修

～SDGs 達成に向けた環境教育・ESD 実践講座～

環境省では、文部科学省の協力の下、持続可能な社会の構築と個人と社会のウェルビーイングの向上に向けて、多様な主体との学び合いを通して、学校のみならず、地域におけるあらゆる場で質の高い環境教育・ESD を実践・推進するリーダーとなる人材を育成していくことを目的に、本研修を開催します。

カーボンニュートラル

ネイチャーポジティブ

地域循環
共生圏

体自
験然

未来をつくる、人をはぐくむ。



教科
横断

里山里海

ユ
ウ
イ
ズ

クロスカリキュラム

SDGs

カリキュラム・マネジメント

研修 内容

本研修では、学校におけるカリキュラム・マネジメント等の実践力向上を目指す「カリキュラム・デザイン・コース」と、環境教育・ESD における体験活動をはじめとする環境教育プログラムの実践力向上を目指す「プログラム・デザイン・コース」の2つのコースを設けています。

カリキュラム・デザイン・コース

環境教育・ESD のカリキュラムをデザインする力を養うことにより、学校や地域において、教科横断型で地域共生の視点を取り入れた環境教育・ESD を実践・推進していくリーダー人材を育成することを目的とした研修です。

プログラム・デザイン・コース

多様なフィールドでの体験活動を通して体験活動を企画実践するための視点や双方向型のコミュニケーションについて、多様な主体と共感を分かち合いながら学び、環境教育のプログラムをデザインする力を養うことを目的とした研修です。

受講料無料

※詳細は中面、または下記HPを参照ください。



https://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher



カリキュラム・デザイン・コース

可能であれば、同じ学校の先生とお誘い合わせての御参加を推奨します。

集合型研修 基礎編：オンライン研修

講義と、校種別に分かれての実践事例紹介、質疑応答等を行い、環境教育・ESDの基礎やカリキュラム・デザインのポイントについて学びます。研修会はオンライン会議システム「Zoom」を使って3回開催します。

日時 〈第1回〉7月10日(木) 15:00~17:00
〈第2回〉7月25日(金) 10:00~12:00
〈第3回〉7月26日(土) 14:00~16:00

対象 環境教育・ESD、SDGsに取り組みたい教職員、行政関係者、民間企業、NPO/NGO、地方公共団体、学生等

定員 各回200名まで

※3回行う各回の研修は同内容であり、連続講座ではありません。

集合型研修 実践編：対面研修

小・中学校、高等学校の現職教員を主な対象とし、校種別(小・中学校チーム、高等学校チーム)に分かれて、グループワークを「対面型」で行います。同内容の研修を東京と大阪で開催します。

- 小・中学校チーム：実践事例の紹介や各教科等と関連させた環境教育・ESD、SDGsの年間指導計画案(通称「ESDカレンダー」)の作成
- 高等学校チーム：環境教育・ESD、SDGsを探究課題(題材)とした総合的な探究の時間の計画の作成

東京

日時 8月18日(月) 10:30~16:00

会場 ビジョンセンター東京駅前
東京都中央区八重洲1-8-16 新槇町ビル7F
JR東京駅 八重洲中央口より徒歩約1分

大阪

日時 10月25日(土) 10:30~16:00

会場 AP大阪梅田東
Osaka Metro 谷町線「東梅田駅」徒歩4分、
Osaka Metro 御堂筋線「梅田駅」徒歩6分、
阪急・阪神電鉄「大阪梅田駅」徒歩6分、
JR「大阪駅」徒歩9分

定員 各回100名程度

対象 教職員、教育委員会、地方公共団体、教職課程履修中・済みの学生、学校教育に関わりのある方

事前準備等

- ※事前学習として、基礎的な講義動画(YouTube限定配信。30分程度)を視聴いただけます。
- ※効果的なグループワークを実施するために、講師への質問等を記入いただくウェブフォームへの記入と事前課題シートの作成(A4・1枚以内。当日持参)を事前に御準備いただけます。

講師派遣型研修

学校、教育委員会、地方公共団体等からの希望を受け、講師を派遣して講義及びグループワークを行います。環境教育・ESD・SDGsのカリキュラムをデザインする力を養うことができるように、講師派遣を希望する団体のニーズに沿う形で、研修の日程・内容等を調整します。既にESDカレンダーを取り入れている学校については、その評価手法やブラッシュアップなど学校の進捗状況に沿った研修を行うこともできます。また、ホールスクール・アプローチの向上につながることもできます。

日程・内容 派遣先の希望等に応じて柔軟に対応します。

対象 学校、教育委員会、地方公共団体等(全国8か所程度)

- 条件**
- 研修参加者が原則として20名程度確保できること
 - 研修時間を2~6時間程度確保できること
 - 研修会場(教室、会議室等)を確保できること(会場借料は派遣先の負担となります)

※講師派遣、参加者への資料送付等に係る派遣先の費用負担はありません。

講師

(敬称略・五十音順)

環境教育・ESDの
実践・指導経験が
豊富な講師陣です

目白大学 人間学部
児童教育学科 教授
いしだ
石田 好広

東京都多摩市立
連光寺小学校 校長
せきぐち
関口 寿也

筑波大学附属
環境教育研究部 主幹教諭
たてもと
建元 喜寿

全国小中学校
環境教育研究会 顧問
たなはし
棚橋 乾

佐賀県立
厳木高等学校 校長
まえだ
前田 修之

群馬県立尾瀬高等学校
非常勤講師
まつい
松井 孝夫

横浜国立大学
教育学部 教授
まつばぐち
松葉口 玲子



プログラム・デザイン・コース

基礎編：オンライン研修

民間企業の環境教育・ESD 担当者、ESG 担当者を主な対象とし、学校、地域、企業等が連携した環境教育プログラムを企画・実践することができるよう、講義に加え、実践事例の紹介や意見交換等を行い、学びを深めます。研修会はオンライン会議システム「Zoom」を使って開催します。

日時 9月11日(木) 15:00~17:00

定員 無制限

対象 民間企業等の環境教育・ESD及びESG担当者、企業との連携に関心のある教職員、行政関係者等

実践編：体験型研修

多様なフィールドでの体験活動を通して、体験活動を企画・実践するための視点や双方向型のコミュニケーションについて、多様な主体と共感を分かち合いながら学び、環境教育のプログラムをデザインする力を養うことを目的とした研修です。事業者が提供している「体験活動」を実際に体験したり、取り組みに携わる人と交流したりするほか、得られた学びや気づきを参加者同士で共有するためのグループワーク等を実施します。

対象

教職員、行政関係者、民間企業、NPO/NGO、学生等の環境教育や体験活動、地域づくりに関心のある方

体験の 機会の場

環境教育等促進法に基づき、都道府県知事等によって認定された「**体験の機会の場**」において、体験型環境教育の質の向上や専門的な人材育成が推進されることを目的に設立された「体験の機会の場」研究機構(<https://esd-place.org/>)と連携して行います。プログラム内容や定員等の詳細は研修公式サイトで御確認ください。

※各回、近隣の主要な駅等から無料送迎バスを用意する予定です。

①YMCA 阿南国際海洋センター

日程 令和7年6月29日(日)

会場 YMCA 阿南国際海洋センター(徳島県阿南市)

送迎バス発着場所 JR徳島駅

②公益財団法人水島地域環境再生財団

日程 令和7年7月12日(土)

会場 みずしま資料交流館あさがおギャラリーほか(岡山県倉敷市)

送迎バス発着場所 JR倉敷駅

③OMソーラー株式会社

日程 令和7年8月23日(土)

会場 OMソーラー株式会社地球のたまご(静岡県浜松市)

送迎バス発着場所 JR浜松駅

④株式会社相愛

日程 令和7年10月11日(土)

会場 株式会社相愛ほか(高知県高知市)

送迎バス発着場所 JR高知駅

⑤公益財団法人キープ協会

日程 令和7年11月15日(土)

会場 公益財団法人キープ協会 清泉寮新館ほか(山梨県北杜市)

送迎バス発着場所 JR小淵沢駅

⑥特定非営利活動法人雨煙別学校

日程 令和7年12月21日(日)

会場 雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスほか(北海道夕張郡栗山町)

送迎バス発着場所 新千歳空港

その他

国立公園・国定公園、ラムサール条約登録湿地及び社会教育施設などにおける研修も行います。

⑦タカミヤ環境ミュージアム

実施者 タカミヤ環境ミュージアム

日程 令和7年9月30日(火)

会場 タカミヤ環境ミュージアムほか(福岡県北九州市)

送迎バス発着場所 JR小倉駅

⑧蕪栗沼・周辺水田

実施者 特定非営利活動法人 蕪栗ぬまっこくらぶ

日程 令和7年12月9日(火)

会場 蕪栗沼・周辺水田ほか(宮城県大崎市)

送迎バス発着場所 JR古川駅

参加条件 (各コース共通) **2回のアンケートへの回答協力(事後及びフォローアップ)**